

2050年カーボンニュートラルに向けた 若手有識者研究会の開催について

令和5年1月26日

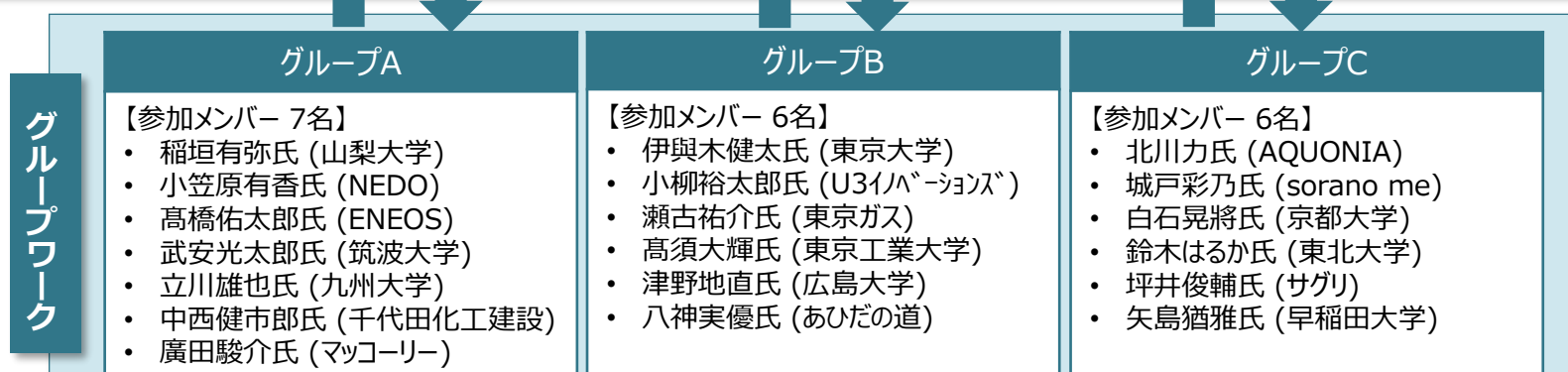
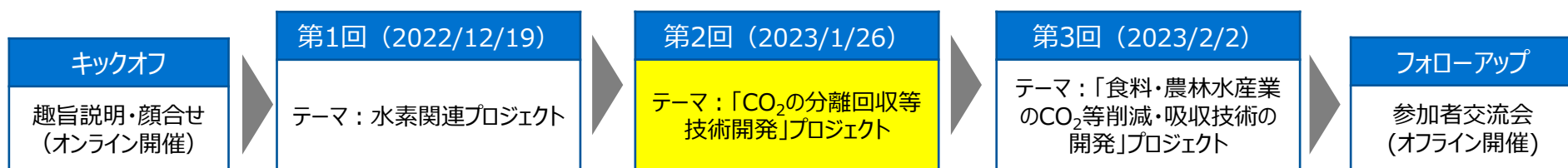
経済産業省

2050年カーボンニュートラルに向けた若手有識者研究会の開催について

- 2050年カーボンニュートラル実現に向けて、グリーンイノベーション基金等に係る取組に長期的に関与できる若手人材の参画が不可欠となることから、**将来的に第一線で活躍が期待される若手有識者を発掘し、政策検討に必要な視点の獲得と、当事者間及び政策当局とのネットワーク形成**を図ることを目的として設置。
- 検討結果を基金全体の運営や関連プロジェクトの取組にどのように反映していくかは今後検討。

2050年カーボンニュートラルに向けた若手有識者研究会

- **グリーンイノベーションプロジェクト部会・WG委員を含めた有識者からの推薦に基づきメンバーを選定。**
- メンバーの専門性等も踏まえつつ、「**水素関連**」、「**CO₂分離回収**」、「**食料・農林水産業**」の3つのプロジェクトに関するテーマを設定し、各テーマについて若手有識者をグルーピング。グループワークを通じて議論した、各プロジェクトにおける研究開発・社会実装への取組状況の分析やそれを踏まえた提言をプレゼンし、他グループから質疑を行う形で研究会を実施する。
- キックオフ及びフォローアップを含めた計5回を**オンラインで開催**（フォローアップはオフライン開催）し、第1回～第3回については**一般公開**する。



平均年齢
32.6歳

研究会の具体的な開催方法

- 第1回～第3回の研究会では、各回1グループが、事前のグループワークで議論した内容を基に、政策立案者の立場に立って、マクロ環境・政策方針等を説明（**政策を体系的に理解する目的**）し、残りの2グループがその内容に対する質疑・コメントを行う（**実践的に政策検討を経験する目的**）形で開催。
- この際、**政策検討のアプローチに関する知見をインプット**することが効果的と考えられるため、**グリーンイノベーションプロジェクト部会・WG委員にモデレーターを依頼するとともに、有識者による講義と、グループ間での討議に帯する講評の時間を設ける**こととする。

1. 趣旨説明（5分）

研究会の趣旨・流れについて説明。

2. 有識者による講義（20分）

グリーンイノベーションプロジェクト部会・WGの委員から、政策検討における心掛けや考え方について講義。

3. 研究会テーマに関するマクロ環境、政策方針等のプレゼン（30分）

グループワークで整理した各プロジェクトの研究開発・社会実装の取組状況等について、各回1グループから**政策立案者側の立場**で説明。

4. プレゼンに対する質疑・コメント（50分）

プレゼンを行うグループ以外の参加者は、**政策検討者の立場**でプレゼン内容に対する**質疑・コメント**を実施。

5. 有識者による講評（15分）

2. の有識者より、政策検討の観点から指摘すべき点や批判的な視点に留意しながら議論できていたか、等を全体講評。

<研究会イメージ：Aグループが調査したテーマの場合>

